ユニバーサル・コントローラー EJ-57U

本製品（以下コントローラー）は弊社製特定小電力トランシーバーDJ-P24（以下トランシーバー）と接続し、接点情報を双方向に無線伝送することによって遠隔操作をおこなうためのユニットです。

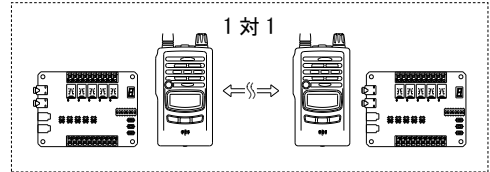
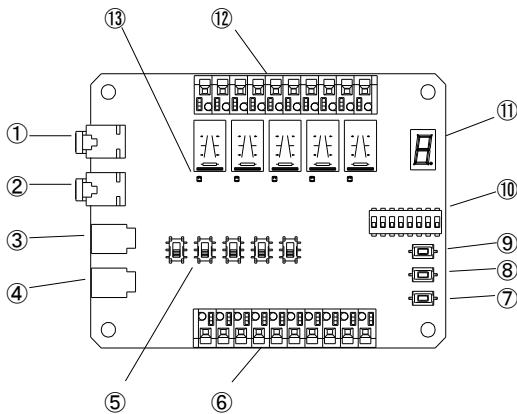
> ◆使用前のご注意◆
> 本製品は工業用途や人命にかかわるような高い信頼性が要求される状況下で使用される、あるいはシステムに用いられることを目的として設計・製造されたものではありません。
> 製品の品質、信頼性向上に努めておりますが電子部品は故障が発生したり誤動作することがあります。万が一弊社製品に誤動作、不具合が生じ、正しく情報伝送ができなかった場合でも製造元および販売元はその責任を負うものではありません。

■付属品

電源ケーブル UX1371／信号ケーブル UX1372（トランシーバーとの接続用）
取扱説明書（本書）
注）別途 AC アダプターEDC-122 が必要です。

■製品構成

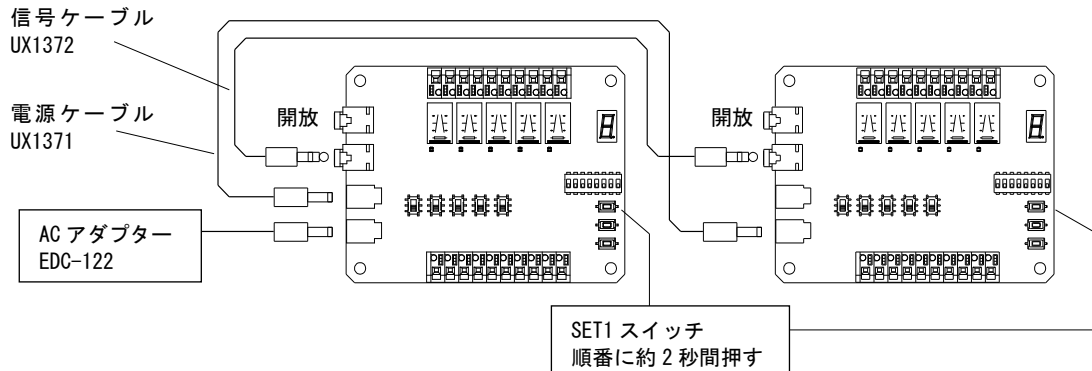
コントローラーとトランシーバーを接続したものを二組準備します。
本製品を使用した無線伝送は 1 対 1 の組み合わせでのみ、おこなうことができます。
複数台組み合わせることはできません。
注）通信距離の目安は見通しのよい場所で約 100m です。

1 対 1

■各部の名称とはたらき

	名称	はたらき
①	テスト端子	使用しません
②	信号端子	トランシーバーと接続します
③	電源出力端子	トランシーバーと接続します
④	電源入力端子	AC アダプターを接続します
⑤	テストスイッチ	入力信号テスト用（5 回路）
⑥	信号入力端子	入力信号を接続します（5 回路）
⑦	リセットスイッチ	コントローラーをリセットします
⑧	SET2 スイッチ	相手機 ID を表示します
⑨	SET1 スイッチ	自機 ID を表示または送出します
⑩	DIP スイッチ	※入力信号の論理を選択します（1～5）
⑪	ディスプレイ	状態を表示します
⑫	信号出力端子	制御対象機器などを接続します（5 回路）
⑬	LED	状態を表示します（5 回路）

※初期状態（下側）は、「無電圧閉回路」入力で ON を伝送

■事前設定（ID 登録）

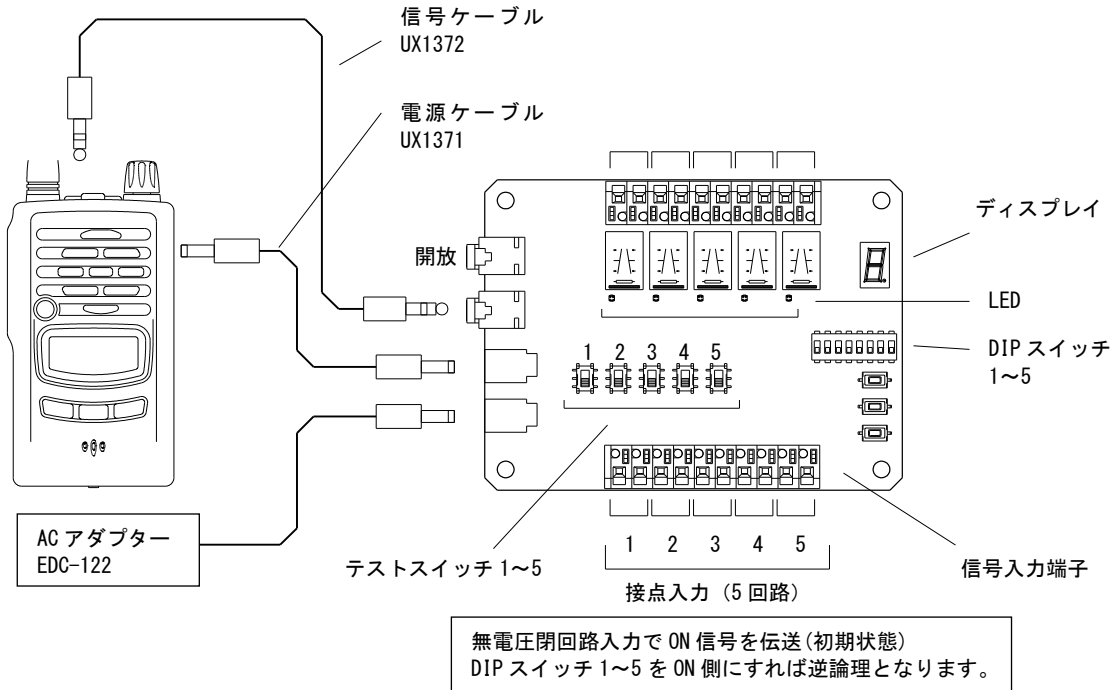
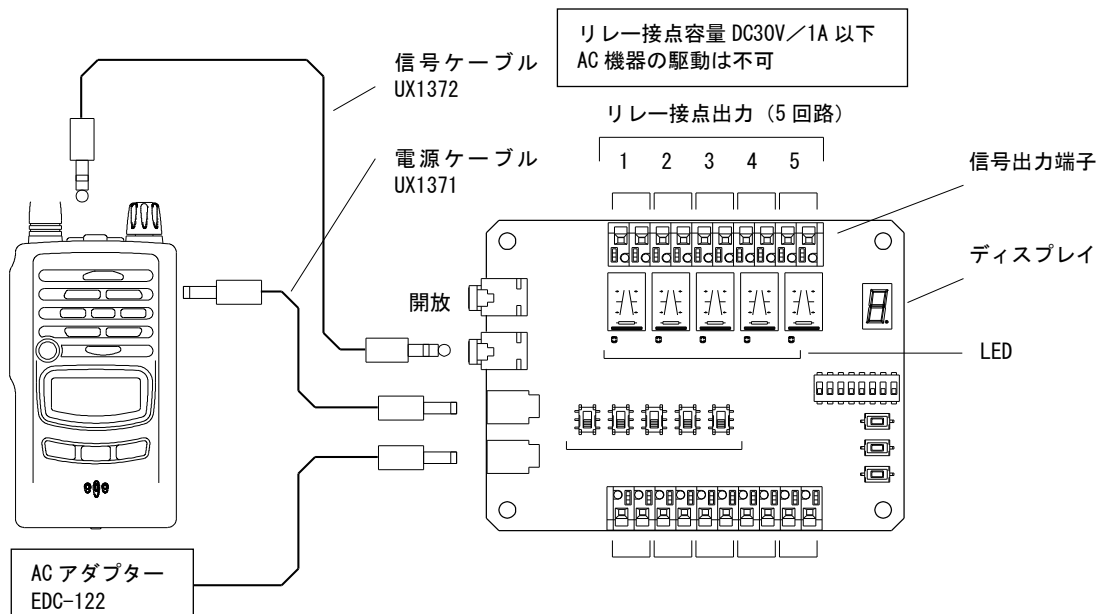
コントローラーには一台ずつ個別の ID が登録されています。
トランシーバーと接続して使用する前にコントローラーどうしを接続し、お互いの ID を登録します。
この設定は混信を防ぐために、登録された相手機の信号にのみ応答するためのものです。

①2 台のコントローラーを付属のケーブルで下図のように接続し、AC アダプターで電源を供給します。
②SET1 スイッチを約 2 秒間押します。ID が相手機に送出され、登録がおこなわれるとディスプレイに番号が表示されます。
③2 台のコントローラーとも順番に同じ登録操作をおこないます。
④SET1 スイッチを押すと自機 ID が、SET2 スイッチを押すと登録された相手機 ID が確認できます。

■トランシーバーの設定変更

DJ-P24 のセットモードにおいてデータ通信速度を変更します。(38400bps→9600bps)
ファンクションキーを押したあとにダイヤルを 23 回押します。「38400」が表示されます。ダイヤルを回し「9600」を選択します。
PTT キーを押し設定を完了します。(セットモードへの入り方は DJ-P24 の取扱説明書 44 ページをご覧ください。)

■接続

ID 登録済みのコントローラーとトランシーバーを接続します。

【送信(制御)側】
①コントローラーとトランシーバーを付属のケーブルで接続します。
②コントローラーの信号入力端子にスイッチなどの接点を接続します。
　初期状態では「無電圧閉回路」が入力されると ON 信号を伝送し、受信側リレーが ON します。
　DIP スイッチ 1～5 を ON 側にすれば入力信号は逆論理となります。(DIP スイッチ 1～5 は、信号入力端子 1～5 と対応しています)
③テストスイッチ 1～5 は信号入力端子 1～5 と対応しており、これらスイッチを操作して受信側リレーを制御することもできます。
④トランシーバーの電源スイッチを ON 状態とし、コントローラーに AC アダプターを接続します。
　トランシーバーの電源が入り、ディスプレイの dot(点)が点灯すれば準備完了です。
⑤送信側コントローラーから ON 信号を送出し、受信側より応答があると該当の LED が緑色に点灯します。

【受信(被制御)側】
①コントローラーとトランシーバーを付属のケーブルで接続します。
②コントローラーの信号出力端子に駆動したい機器の回路を接続します。(リレー接点容量 DC30V／1A 以下　AC 機器の駆動は不可)
③トランシーバーの電源スイッチを ON 状態とし、コントローラーに AC アダプターを接続します。
　トランシーバーの電源が入り、ディスプレイの dot(点)が点灯すれば準備完了です。
④送信側コントローラーからの ON 信号によりリレーが ON すると、該当の LED が赤色に点灯します。

■使用例

本製品を使用した簡単な一例を示します。

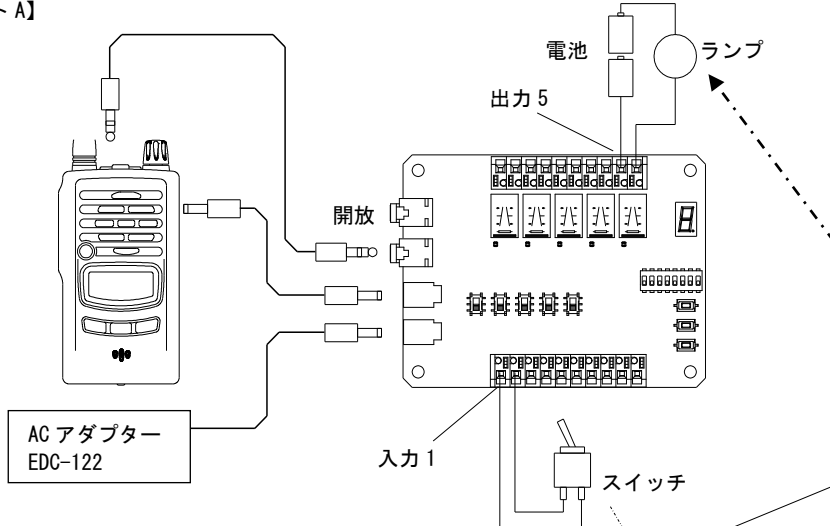
【セットA】

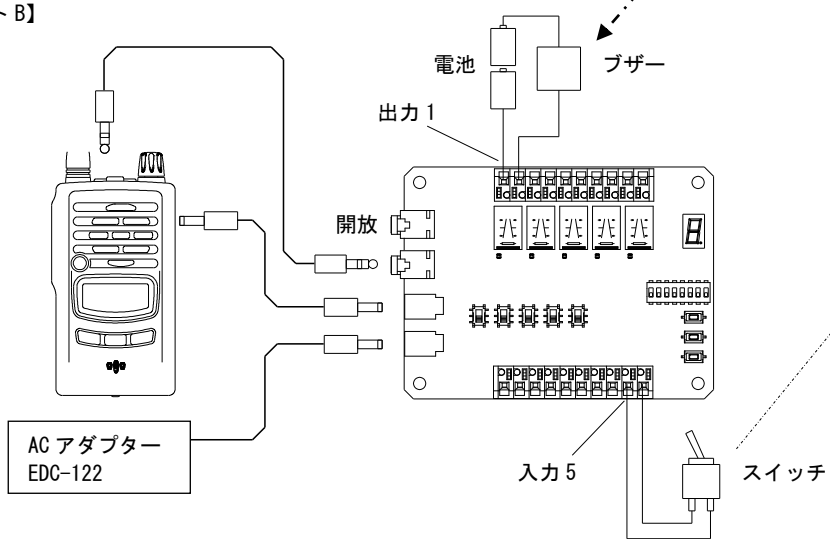
電池　ランプ　出力5　開放　入力1　スイッチ

AC アダプター
EDC-122

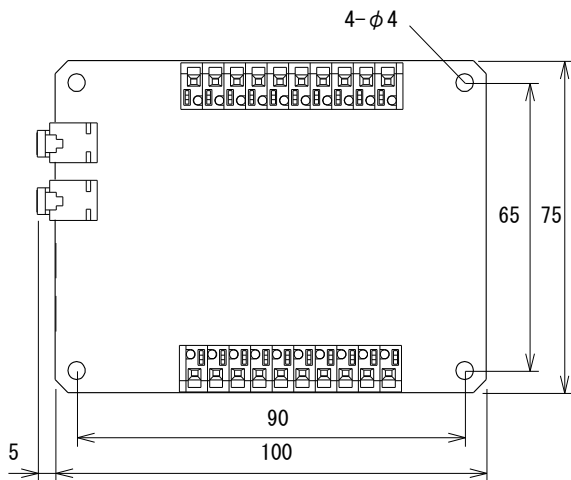
【セットB】

電池　ブザー　出力1　開放　入力5　スイッチ

AC アダプター
EDC-122

セットＡのスイッチを操作し、
セットＢのブザーを遠隔操作

セットＢのスイッチを操作し、
セットＡのランプを遠隔操作

◆使用中の注意◆

電源投入時またはリセット時に、コントローラーとトランシーバーの間で初期化がおこなわれます。
使用途中でトランシーバーの電源を切ると、その後再投入しても正常に動作しないことがあります。
トランシーバーの電源だけを入れ直した場合は、コントローラーのリセットスイッチを押し初期化してください。ただし初期化した場合、それまでのリレー接点の状態は保持されません。

■仕様・定格

t=1.6 プリント基板
部品高さ 12㎜ 以下

対応機種	DJ-P24（特定小電力トランシーバー）
通信方式	2値FSK／双方向（シンプレックス方式）
アンサーバック	あり
電源電圧	DC6V
消費電流	200mA以下（EJ-57Uのみ）
電源端子	EIAJ区分2型
インターフェイス端子	φ3.5ステレオジャック
インターフェイス形式	弊社独自シリアル通信方式
入力回路数	5
入力回路形式	フォトカプラ／無電圧閉回路入力
出力回路数	5
出力回路形式	リレー／無電圧接点出力
リレー接点容量	DC30V／1A以下（AC駆動は不可　注1）
動作温度範囲	-10～50℃
寸法	100㎜×75㎜（穴位置90㎜×65㎜）
重量	約60g

注1）リレー接点へAC電圧を印加すると接点が焼損し事故につながりますので絶対におこなわないでください。

◆安全上のご注意◆

製品を安全にご使用いただくため「安全上のご注意」をお読みください。この取扱説明書では製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために記載しています。その表示の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

表示	表示の意味
⚠ 危険	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠ 警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

本製品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因にて通信の機会を失ったために生じる損害、純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■通信距離について

□通信距離の目安は見通しのよい場所で約100mです。
通信できる距離は周囲の状況によって大きく異なり、音声通話が可能な状況下であっても電界強度が変化することによるジッターなどによりデータは正常に伝送できないことがあります。

■無線機本体の取扱いについて

□無線機は調整済みであり分解、改造することは法律により禁止されています。分解、改造して使用しないでください。火災、感電、故障の原因となります。

■保守・点検

□無線機本体のケースは開けないでください。けが、感電、故障の原因となります。
コントローラーおよびトランシーバーの改造は絶対におこなわないでください。点検、修理はお買い上げの販売店、または弊社サービス窓口へご依頼ください。

■異常時の処置について

□以下の場合はすぐに本体の電源を切り、電池を取り外してください。異常な状態のまま使用すると火災、感電、故障の原因となります。

・異常な音がしたり、煙が出たり、変な臭いがするとき。
・落としたり、ケースが破損したとき。
・基板が濡れたり、内部に水や異物が入ったとき。

⚠ 警告

■使用環境・条件

□この製品を人命救助などの目的で使用して万が一故障、誤動作などが原因で人命が失われることがあっても、製造元および販売元は、その責任を負うものではありません。
□この製品を何らかのシステムや電子機器の一部として組み込んで使用した場合、いかなる誤動作、不具合が生じても製造元および販売元はその責任を負うものではありません。
□この製品どうし、または他の無線機器とともに至近距離で複数台使用しないでください。お互いの影響により故障、誤動作、不具合の原因となります。
□電子機器（医療機器など）の近くでは使用しないでください。電波障害により機器の故障、誤動作の原因となります。
□航空機内、空港敷地内、列車内、中継局周辺、病院内などでは絶対に使用しないでください。電源も入れないでください。運行の安全や無線局の運用、放送の受信に支障をきたしたり、医療機器が故障、誤動作する原因となります。
□部品や電池から漏れた液が皮膚や衣服に付着したときは、皮膚に障害を起こすおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。
□指定以外のオプションや他社のアクセサリー製品を接続しないでください。故障の原因となります。

危険

■使用用途

□工業用途や人命にかかわるような高い信頼性が要求される状況下では使用しないでください。

□本製品はAC駆動できません。リレー接点へAC電圧を印加すると接点が焼損し事故につながりますので絶対におこなわないでください。

注意

■使用環境・条件

□テレビ、ラジオの近くで使用しないでください。電波障害を与えたり、受けたりすることがあります。

■製品の取扱いについて

□長期間ご使用にならないときは、安全のため電源を切り、AC アダプターをコンセントから抜き、電池を取り外してください。

■保守・点検

□お手入れの際は安全のため電源を切り、AC アダプターをコンセントから抜き、電池を取り外してください。

アフターサービスに関するお問い合わせは
お買い上げの販売店または、フリーダイヤル　0120-464-007
全国どこからでも無料で、サービス窓口につながります。
受付時間／10:00～17:00 月曜～金曜（祝祭日及び12:00～13:00は除きます）
ホームページ　http://www.alinco.co.jp/　「電子事業」をご覧ください。